

TOKYO DESIGN PARTY



長根 寛

Hiroshi Nagane

デザインディレクター 照明デザイナー
東京デザインパーティー代表
日本デザイン福祉専門学校非常勤講師
<http://www.designparty.net>

1967年 青森県八戸市生まれ。 1995年 東京デザインパーティー設立。視覚情報による人の心理行動からモノ・コト・空間をデザインマネジメントする。 2007年京和傘の老舗「日吉屋」より照明器具の古都里シリーズを発表。世界マーケットを睨んだプロモーション方法からデザインまでのディレクションを行い高い評価を受ける。 2008年有機EL照明「ELRING」有機EL照明最優秀賞を受賞。 2009年 照明デザインを手がけた熟成肉店「中勢以」田園調布店が、JCDデザインアワード2009 金賞受賞。 2014年 弘法大師空海の高野山開創1200年を記念し、高野山真言宗総本山金剛峯寺の歴史上初めての夜間拝観に伴う日本最大規模の石庭蟠龍庭のライティングデザインを行う。

sarasara

sarasaraシリーズはシリコーンのグリップ力を利用した自助具として開発された皿の皿です。皿の下にすべらない皿を敷くことで、小さな子供やお年寄りや介護を必要とする人など手を添えて抑えることのできず皿が滑ってしまい食べにくいなどの軽減につながります。少し冷たい感じのシリコーン素材ですが、素朴な風合いを持つ国産木綿とあわせることにより、人の気持ちに寄り添ったやさしさの伝わる雰囲気のある製品になりました。

シリコーン染めといってよいような梅模様の和柄をあしらったデザインで裏と表リバーシブルで楽しむことができます。

仕様

sarasara / $\phi 170$ $\phi 140$ $\phi 110$ $\phi 70$



Good Design賞2007 中小企業庁長官特別賞
JAPAN SHOP SYSTEM AWARDS2007奨励賞
新日本様式100選選出
ドイツデザイン賞FORM#2008
有機EL照明デザインコンペ最優秀賞



コモノイレ



セッケンイレ



ハブラシホルダー



sumi

sumiシリーズはホテルの客室で使用されるシーンをイメージしてデザインされました。身につけているアクセサリーを外し小物入れに入れる⇒お風呂に入り歯ブラシをする⇒シャワーを浴び石鹼を使う⇒食事を自慢の箸で楽しむ。日本のホテルシーンをイメージした小物アイテムとして「炭」をテーマとし、シリコーンに炭パウダーを混入させて製造された製品は、炭の流れのようなマーブル模様が現れ、硯のような風合いをなし、底面には隠れたオシャレとして和柄模様を施し、遊び心のあるデザインとなっています。炭は宮城県七ヶ宿町で山の線を保ちながら続いている炭焼き職人佐藤光夫氏の七ヶ宿の白炭を使っています。



ハシオキ



&designは、家電、雑貨などメーカー出身のプロダクトデザイナーとインターフェースデザイナーで、2005年より活動開始。のち2007年アンドデザイン(株)を設立。主にプロダクトデザインをメインとするも、多岐に渡るメーカーワークは、デザイン業務のみならず商品化に至るまでのすべての開発をサポートする。その他、自分たちの可能性を広げる目的を持つ、毎年異なるテーマで発表される作品(プロトタイプ)は国内・海外の主な展示会にて発表。のちに商品化された作品は現在数十件に上る。自らがメーカーとなり、自社ブランドの商品の製造販売も行なう。

<http://www.anddesign.jp/>

宮沢 哲 Tetsu Miyazawa

東海大学デザイン学科卒、公共景観メーカー、パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)、日本サムスン(株)を経て、&design株式会社設立後、現職。現在(株)NTTドコモデザインディレクション業務の兼務、および 法政大学デザイン工学部 非常勤講師
Good Design, Korea Good Design Product Selection, CTIA "best in show", reddot Design, iF Design

市村 重徳 Shigenori Ichimura

千葉大学工業意匠科卒、aiwa株式会社、(株)マーナ、日本サムスン(株)を経て、&design株式会社設立後、現職。

Good Design, Korea Good Design Product Selection, reddot Design

南出 圭一 Keiichi Minamide

岡山県立大学工芸工業デザイン学科卒、京セラ株式会社、サムスン電子ジャパン(株)を経て、現職。

Good Design, iF Design, IDEA Finalist

SiX FABRIC

シリコーン製品の最先端ブランドCOVACが創業以来30年以上にわたり磨き続けた『感触の技術』をもとに、これまでにない新しいシリコーンゴムとそれを用いたプロダクト開発を行うことで、シリコーンゴムの新しい可能性を提示できないかと考えた。“SiX FABRIC”はシリコーンゴム(Si *主成分ケイ素の元素記号)の弱点の1つである引き裂き強度を補い、デザイン性を高める素材として布生地(FABRIC)に注目し、それらを一体に加工することで、お互いの特性を合わせもった『第6の触感』を感じる新素材開発プロジェクトである。プロジェクト第一弾としてヨーロッパの有名ブランドにも認められる、国産デニムメーカークロキ社のデニム生地を採用した『X Denim(パイデニム)』を開発。600種類以上もあるデニム生地の中から、シリコーンゴムとの密着性や立体形状に対する追従性、縫製可能な素材の厚みなど、さまざまな条件をもとに試作を重ね、縫製、レーザーカット、印刷等の加工可能な新たな可能性をもった新素材を実現すると共に、デニム生地の素材感とシリコーンゴムの撥水性を合わせもつ、同素材の特性と魅力を生かしたサイクリンググッズをデザインした。今後はキッチン用品、アウトドア用品、バッグ、PCケースなど、さまざまなアイテム展開や、デニム生地以外の布生地を用いた新素材開発を予定している。





Frame Bag × Denim
w21.3 d4.6 h16(cm)



Handle Grip
Sheet × Denim
w12.7 h8.2 厚み 0.23(cm)

Cap × Silicone
w2.7 d2.7 h2.7(cm)

Cycle Band × Denim
w41 h5 厚み 0.26(cm)



Cycle Wallet × Denim
w12 d1.2 h9.5(cm)



Key Case × Denim
w5 d2.5 h11(cm)

6
SiX
FABRIC